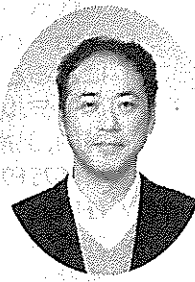


キャリア権の時代

【第6回】



法政大学大学院
政策創造研究科
教授

石山 恒貴

NPO法人キャリア権推進ネットワーク
「キャリア権推進研究会」

IT業界で優位へ

今回は、日本システムウェア(株)の事例を紹介したい。同社は1966年の創業以来、事業領域をソフトウェア開発から、デバイス開発、システムインテグレーション事業、データセンター事業を中核としたクラウドサービス事業へと、時代の要請に応え拡大している。

半年ごとに面談開く

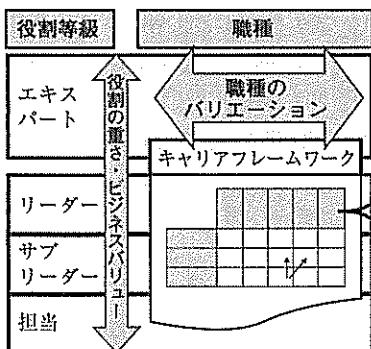
専門性で個人意思尊重

IT業界で優位へ
今回は、日本システムウェア(株)の事例を紹介したい。同社は1966年の創業以来、事業領域をソフトウェア開発から、デバイス開発、システムインテグレーション事業、データセンター事業を中核としたクラウドサービス事業へと、時代の要請に応え拡大している。

いるところが同社の特徴だ。下図の通り同社は、ITスキル標準(ITSS)・ITサービスマネジメント能力の業界共通の指標に準拠した自社の職種を定義している。また、ただだけビジネスバリユを發揮しているかを意味する役割の重さも定義。この役割の重さも定義。この役割の重さも定義。この役割の重さも定義。

一方、「現在職種」と「将来職種」の情報は、全社的に登録され、キャリアフレームワークにおける分布図として「見える化」される。会社として、個人の希望に基づき将来の能力の分布状況が把握でき、それを参考として、事業戦略を立案可能。このように、専門性に関する個人の意思を尊重するとともに、それを会社の事業戦略の構築に

■図 ITSS でキャリアパス構築



- 1. ゼネラルスタッフ
- 2. プロデューサー
- 3. ビジネスデザイナー
- 4. 営業スペシャリスト
- 5. プロジェクトマネージャ
- 6. システムアーキテクト
- 16. ITサービスマネジメント
- 17. ITエンジニア

資料出所) 日本システムウェア(株) 提供

生かす仕組みを構築しており、ビジネスニーズに即したキャリア権実践の好事例だ。